

(2) 最新農業技術・品種2016

農林水産省では、平成25年度より「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針」（平成25年12月11日攻めの農林水産業推進本部決定）に基づき導入が期待される品種・技術リストを作成し、有用な品種・技術を紹介している。

このうち、温暖化に適応すると思われる品種・技術を紹介する。

露地栽培におけるニホンナシ発芽不良軽減のための管理技術

露地栽培のニホンナシ発芽不良は、10月の施肥を中止し、短果枝、予備枝由来の長果枝を使用することで発生を軽減できる

研究開発の背景

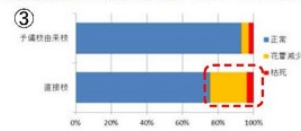
2009年春期にニホンナシの発芽不良が西南暖地を中心として広域的に発生した。本障害はこれまで加温ハウス栽培でみられていたが、この年の発生は露地栽培が中心であり、原因が不明である。そのため、ニホンナシの露地栽培において、発芽不良の軽減技術を明らかにする。

研究成果の内容

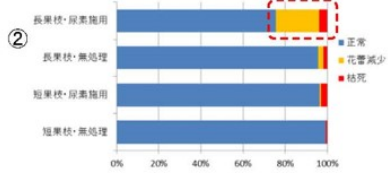
発芽不良軽減のため、10月施肥の中止、短果枝、予備枝由来の長果枝を使用



ポット試験により、10月に肥料を施用すると、発芽不良が多発することを確認。



長果枝の中では、予備枝由来枝より直接枝の方が発芽不良の発生が多い。



成木による試験により、10月に肥料を施用すると、長果枝に発芽不良が増加することを確認。

発芽不良を避けるには、①②③より、
 ・10月に肥料の施用を中止
 ・短果枝を利用
 ・もしくは予備枝由来の長果枝を利用

導入メリット

発芽不良頻発園では
 多発年は収穫80%減収。
 少発年は収穫20%減収。
 5年に1回多発年。収穫量は年平均32%減収。

産地全体では
 多発年は約10%減収。
 少発年は約2%減収。
 5年に1回多発年。産地全体で年平均3.6%の減収。

対策の実施により被害が半減すると

年平均16%の減収分の収益確保

年平均1.8%の減収分の収益確保



対策なし



対策あり

期待される効果

・発芽不良の発生が軽減されることで着果が安定し、ナシ生産・経営の安定が可能となる。

導入をオススメする対象
 ナシ発芽不良発生園をもつナシ生産者

開発機関：熊本県農業研究センター果樹研究所【予算区分：委託プロジェクト】

問い合わせ先：熊本県農業研究センター果樹研究所 TEL 0964-32-1723

(3) 地球温暖化適応策関連ホームページ

農林水産省

生産局

○ 地球温暖化対策

生産現場における地球温暖化影響の調査や適応策の導入の推進

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/index.html>

— 平成22年度高温適応技術レポート（平成23年2月）

平成22年夏が記録的な猛暑により多くの農畜産物に被害があったことから、高温適応技術の実施状況、当面の適応技術及び研究開発課題等についてとりまとめ紹介

— 地球温暖化影響調査レポート

農業生産現場での高温障害など地球温暖化によると思われる影響と適応策について紹介

— 品目別地球温暖化適応策レポート（平成19年6月）

地球温暖化により農業生産現場で発生している影響と、それを回避・軽減する適応技術を紹介

農林水産技術会議事務局

○ 農林水産研究開発レポート（No. 23）

地球温暖化により我が国の農林水産業が今後どのような影響を受け、どう対応していく必要があるのかについて、総合的に紹介

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/report/report.htm>

○ 農業新技術200X

最新の研究成果のうち、普及推進が望まれる重要な農業技術を紹介

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/kankoubutu.htm>

○ 最新農業技術・品種

「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針」に基づき、導入が期待される品種・技術リストを作成し、有用な品種・技術を紹介

http://www.s.affrc.go.jp/docs/new_technology_cultivar/new_technology_cultivar.htm

気象庁

○ 農業気象

農業分野に役立つ様々な気象情報を集めたポータルサイト
(平成26年7月2日公開)

<http://www.jma.go.jp/jma/ki-shou/nougyou/nougyou.html>

ホーム > 各種データ資料 > 農業気象




農業気象

気象庁から提供する情報の中には、農業分野に役立つ様々な気象情報があります。
気象情報を上手に使うことで、天候による農作物へのリスクを減らす、気象災害から農作業者の身を守るなどの効果があります。

営農活動に役立つ気象情報

 低温	 高温	 日照
 降雨	 降雪	 ひょう
 凍霜	 風	 火山灰

屋外活動において身を守るための知識や気象情報

 急な大雨や雷・竜巻から身を守る
 台風や集中豪雨から身を守る
 熱中症から身を守る

※屋外活動において身を守るために役立つ気象情報は、「[防災情報](#)」のページにまとめています。

高温に関連のある情報

過去	<ul style="list-style-type: none">▶ 日本の天候 (天候のまとめや最近の天候経過)<ul style="list-style-type: none">—— 気温、降水量、日照時間の平年差・比 (前4週間 前2週間 前1週間)—— 前3か月間の気温経過▶ 過去の地点気象データダウンロード (気象台やアメダスの昨日までのデータ)
数日前～現在	<ul style="list-style-type: none">▶ アメダス(気温)▶ 最新の気象データ (最新の統計データ)
現在～数日程度先	<ul style="list-style-type: none">— 随時発表される気象情報 —▶ 高温注意情報▶ 気象情報 (高温など)— 定期的に発表される気象情報 —▶ 時系列予報▶ 天気分布予報(気温)▶ 天気予報(気温)
現在～1週間程度先	<ul style="list-style-type: none">▶ 週間天気予報
現在～2週間程度先	<ul style="list-style-type: none">▶ 異常天候早期警戒情報(平均気温)▶ 気象情報 (長期間の高温)
現在～1か月程度先	<ul style="list-style-type: none">▶ 1か月予報(平均気温)
現在～3か月程度先	<ul style="list-style-type: none">▶ 3か月予報(平均気温)
暖・寒候期	<ul style="list-style-type: none">▶ 暖候期予報(平均気温)、寒候期予報(平均気温)

その他

○ 「農業温暖化ネット」

(運営事務局：(一社)全国農業改良普及支援協会)

農作物の温暖化に関する対策情報などからなる農業における地球温暖化関連情報提供サイト

<https://www.ondanka-net.jp/index.php>



○ 「地球温暖化と農林水産業」

(運営事務局：農研機構 農業環境変動研究センター)

地球温暖化現象と農林水産業の関わりに関する研究成果や関連情報を広く提供するサイト

<http://ccaff.dc.affrc.go.jp/index.html>



【問い合わせ先】

農林水産省 生産局 農業環境対策課 地球温暖化対策推進班

TEL : 03-3593-6495

FAX : 03-3502-0869